

奥田瑛二

連載
R40
オトコと映画

40歳以上の男性に思い出の映画をきく企画。第31回は、アウトローな魅力を放つ俳優のみならず、監督や画家としても幅広く活躍する奥田瑛二さん。そんな奥田さんの心に残る1本とは?



PROFILE

1950年生まれ、愛知県出身。小学5年の時に観た『丹下左膳』('58)に衝撃を受け俳優を志す。'79年の『もっとなりやかに もっとしたかに』で映画初主演。ドラマ『男女7人夏物語』('86)で人気を博し、以降数多くの映画やドラマに出演。'01年には『少女 an adolescent』で映画監督デビュー。長編監督3作目の『長い散歩』('06)は、同年のモントリオール世界映画祭でグランプリなど3冠に輝いた。柄本佑は義理の息子にあたる。

在

宇医療のスペシャリスト、
長尾和宏のベストセラー
を『赤い玉』(15)の高橋伴
明監督が柄本佑を主演に迎えて映
像化した『痛くない死に方』。河田
仁(柄本)の先輩で、患者の人生に
寄り添う在宅医、長野浩平を演じ
た奥田瑛二に、役柄への取り組み
や思い出の映画について聞いた。

死に直面する医療はどうあるべき
かというアンチテーゼも踏まえた
作品だから、軽々しくはできない
し、実は静かなる七転八倒をして
いたんだけど、関係者試写を観て
ほつとしました。試写後にみんな
で飲んだビールの味は、本当にお
いしかったですねえ

● ● ●
——どんな人に届けたいですか？

「伴明監督なりの人生観や終活に
対する想いがあつてメガホンをと
つたであろうことが僕にはよく分
かるので、独立プロの人間として
は当然参加しますよね。ましてや
今回は主役が主役ですから(笑)。
『おお、そうか。伴明よ、よくぞ
柄本佑を選んだな！』って。片や、
伴明にも佑にも恥をかかせられな

——本作に出演を決めた理由は？

「我々は団塊の世代の端くれで人
数もいちばん多いし、これから社
会に対してもお荷物になるかもし
れないという世代。いよいよ人生
の後半に差し掛かつて、これから
どうやって始末をつけながら、後
に残る者たちについていかを
考へている。この映画をそういう
人たちが観るであろうと予測した
時に、『自分もこういうふうに死
にたい』『こういうケアを受けた

い』『こんなお別れがしたい』と思
つてもらえる映画であつてほしい。
こういう選択肢もあると分かった
から、みんなほつとするんじゃない
かな。試写を見てからというもの、
僕自身どこか死生観や終活という
ものが頭から離れなくてね。自己
責任をもつとか、家族とのコミュニケーションを大事にするとか…。
でもそこを正すと奥田瑛二じゃな
くなるぞという奴もいるしね(笑)。
じゃあどうするとなつた時に、実
は僕自身が内包していくまだ表現
していない優しさのようなもの
を今後出すようにしていけば、お
のずとそれが伝わるんじゃない
なと思つてゐる現在です」

5~6年前ついに 長年の疑問が解けた

——では、思い出の映画のお話を。
「もちろん『丹下左膳』は映画俳優
を目指すきっかけになつた。僕を
俳優してくれた一作ですから絶
対に外せない。でも人生のベスト
10のうちの3、4本は黒澤作品に
なつてしまふでしょう。僕の
ベストは黒澤明監督の『椿三十郎』
(62)で、次が『七人の侍』(54)
だ!』つて素直に言えるようにな
つたのは、45歳くらいになつてか
ら。それこそ昔はアラン・パーク
監督の『ミッドナイト・エクスプレ
ス』(78)をベストに挙げてい

E | J | O K U D A

「ローマの休日」を初めて観た日は 溢れ出る想いを止められなかつた

わけですよ。でも正直に言うと

『ローマの休日』(53)、『草原の輝
き』(61)、『ティア・ハンター』(78)、
『ブレードランナー』(82)といった
並びだったわけ。なぜ『ローマの
休日』なのかな？ 大学生の時
に上京して日比谷の映画館のリバ
イバル上映で初めて観たんだけど、

観終わってから銀座の街をひとり
で歩いている時の気分が、それまで
観てきた映画とは全然違つたん
だよね。『なんなんだこれは！』
『なんと素晴らしい世界なんだ！』
『なんで2人は一緒ににならないん
だ！』そりやそうだよなあ、お姉
様と新聞記者だからな』って、
どんどん思いが膨らんで。これま
でに50回ぐらい観ているけど、5
~6年ほど前にいつに長年の疑問
が解けたんですよ。それ以来もう
観ていないんですけどね。2人は
恋をしました。そして一緒に部屋
に入りました。その夜、2人は
「したか、しなかつたか」。大
使館に戻つたアン王女が、階段か
ら降りてくる時の表情やあの目。
ジョーが新聞記者であることを明
かして彼女と握手する時の、至福
感を凌駕し恋さえ突き抜けた、何
とも言えぬあの眼差し。ある一夜
の幸福な出来事として、生涯誰に
も言わず新しい世界に突き進もう
と、それぞれの胸にそつとしまい
込む。珠玉のサポートをした新聞
記者に扮したグレゴリー・ベック
から、多幸感のようなものが溢れ
出でているんです。『言葉にするとた
たんだ！ よかったねえ！』つ
て悟つたんです。こう思うのは僕
だけかもしれないけど、あの2人はし
は確実に、してます(笑)』

——50回ご覧になつて到達した答
えが実際に奥田さんらしいです(笑)。
「ハハハ。酒飲んでないのに、酒
飲んでる感じで話しゃつたなあ
(笑)。でもまた観たくなつたでし
ょ？ そつやつて観ると、バイク
で2人乗りするシーンとか、船上
のシーンとか、きっと全然違つて
観られるはずだからさ」

奥田瑛二's 思い出 MOVIE



『ローマの休日』

(BD&DVD:NBCユニバーサル)

名匠ウィリアム・ワイラーが監督し、第26回アカデミー賞で主演女優賞、脚本賞、衣装デザイン賞を受賞したロマンティック・コメディ。ヨーロッパを周遊中の王女アン(オードリー・ヘプバーン)は、常に侍従がつきまとう生活にうんざりし、滞在先のローマで大使館を脱出。偶然出会ったアメリカ人新聞記者のジョー(グレゴリー・ペック)とたつた1日のラブ・ストーリーを繰り広げる。「今なら素直に言えるけど、ずっと裏のベスト・ワンでした(笑)」(奥田)。

INFORMATION

映画『痛くない死に方』

●2月20日(土)公開 配給:渋谷プロダクション

監督/脚本:高橋伴明 原作/医療監修:長尾和宏
出演:柄本佑 坂井真紀 余貴美子 大谷直子
宇崎竜童 奥田瑛二

在宅医療の分野で著名な長尾和宏医師の著書『痛くない死に方』『痛い在宅医』を映画化。終末医療に携わる在宅医として悩み葛藤しながらも、先達に学び、患者やその家族と向き合う河田(柄本)の成長を描き出す。



「俺たち町医者は(患者のカルテではなく)物語を見る」といった長野の言葉に河田は学ぶ。